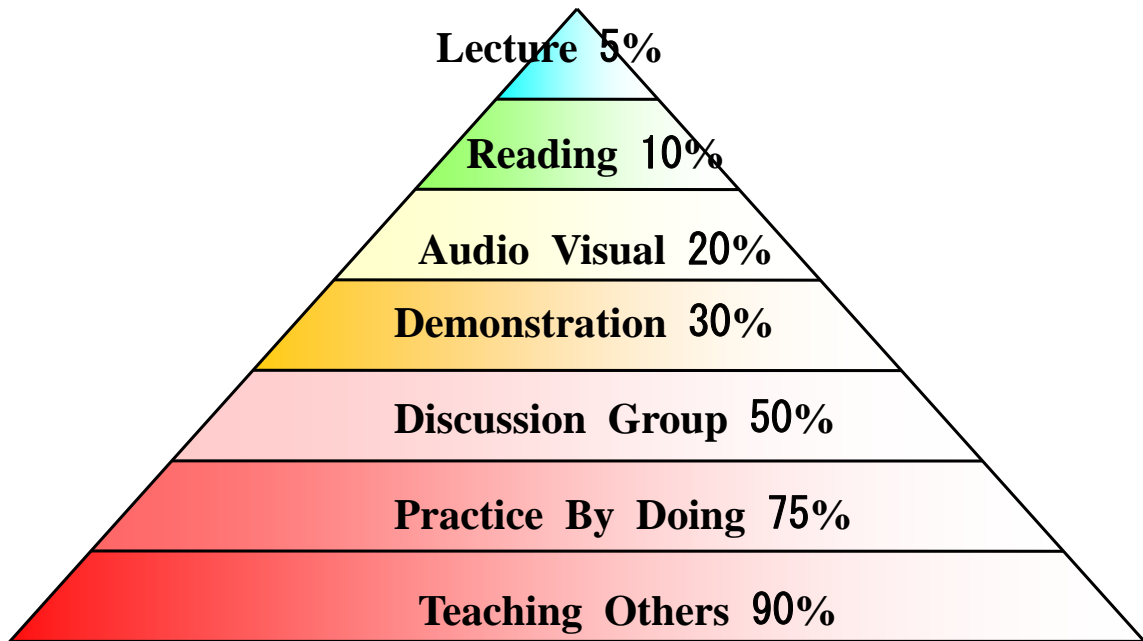


## 学習定着率「Learning Pyramid」

(出典：National Training Laboratories)



平均学習定着率 (Average Learning Retention Rates) から見ると、講義は5%の影響しかないようです。さまざまな教授方略、教授方術を工夫することが学習定着率を上げます。特に学生同士が教え合う「Teaching Others」は、ピア・サポートの原理として、非常に有効な教授方略と言えます。TA や ES の活用はもちろん、授業内で学生同士が教え合ったり話し合ったりする仕組みを取り入れると、飛躍的に学習へのモチベーションが上がったり、学習定着率が上がったりします。また、そのような授業のメリハリが、私語をなくすことにもつながります。ただ、大規模授業での実践は、なかなか難しいところです。